

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課	所属長名	川嶋 武宣	電 話	483-1151 内線2450
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3630		事務事業名称		情報化推進事業					短縮コード		経常	3630		臨時				
予算区分		会計	01	一般会計		款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	10	情報管理費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		八千代市情報化基本計画・同第2期推進計画、八千代市電子自治体推進本部設置要領他												
		☐ その他																		
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																				
平成9年度の組織改正に対応し、本市における情報化施策を全庁的・総合的に推進するためこの事業を実施することになった。 情報化基本計画等の策定及び進捗管理、情報化推進対象分野・システムに関する調査研究、情報化推進組織の運営、情報化研修の実施、市ホームページの更新管理などの業務を行っている。																				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1 情報化推進対象分野・システム 2 職員 3 市民											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 1 次期情報化基本計画及び同推進計画の策定 2 現行計画に係る進捗管理 3 情報化推進対象分野・システムに関する調査研究 4 情報化推進組織の運営 5 情報化推進に係る関係団体との情報交換・意見交換・検討 6 情報化研修の実施 7 情報化研修の受講 8 O A化・情報化に係る相談・支援の実施 9 市ホームページの更新・管理 10 市施設を原因とする電波障害対応 ※平成24年度に計画していること： コンテンツマネジメントシステム導入の検討											
意図 （何を狙っているのか）	1 情報化基本計画に位置づけた事業等の進捗管理等を実施し、計画事業等の達成度の向上を目指す。 2 情報化推進の方針方策及びシステムの整備導入に関する計画を具体化する。 3 職員の情報リテラシーの向上を目指す。 4 市民等と共同により情報化の方向性等を研究検討するとともに、要望・意見等を収集し、情報化施策に関する市民の満足度の向上を目指す。											
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外											
区 分					単位	2 2 年度		2 3 年度		2 4 年度		
						実績		計画		実績		計画
対象指標	指標 1	計画事業等の項目数			件	25		30		27		27
	指標 2	職員数			人	1,322		1,320		1,318		1,319
	指標 3	市民数（15歳以上）			人	163,981		164,500		164,026		169,202
活動指標	指標 1	計画事業等進捗状況等調査日数			日	80		80		80		80
	指標 2	研修等実施日数			日	20		20		11		11
	指標 3	市民等との相談協議時間数			時間	50		60		60		60
成果指標	指標 1	計画事業等の達成度			%	70		75		69		79
	指標 2	パソコンの基礎技能を修得できた職員の割合			%	80		85		81		85
	指標 3	情報化施策に関する市民の認知度			%	30		35		36		40
上位成果指標	指標 1											
	指標 2											
	指標 3											

コード		3630	事務事業名称	情報化推進事業			所属名	情報管理課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	3, 774	1, 249	1, 221	1, 272	
		その他	千円	391	567	444	567	
	主な事業費の内訳			○報償費 5 9 千円○旅費 8 0 千円○手数料 3 9 2 千円○委託料 1, 6 8 0 千円○負担金等 1 9 5 4 千円	○報償費 5 9 千円○旅費 6 0 千円○手数料 5 6 7 千円○委託料 2 1 0 千円○負担金等 9 2 0 千円	○報償費40千円○旅費58千円○手数料445千円○委託料210千円○負担金等918千円	○報償費59千円○旅費60千円○手数料597千円○委託料210千円○負担金等913千円	
人件費 (B)			千円	37, 439. 4	36, 513. 9	35, 657. 7	35, 657. 7	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	41, 604. 4	38, 329. 9	37, 322. 7	37, 496. 7	

3. 事務事業の評価（S E E）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		八千代市第4次総合計画，八千代市情報化基本計画，同第2期推進計画に則り計画的に行っている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		情報通信技術の進展やそれに伴って必要となる職員の情報リテラシーの向上には際限はないと考える。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		当事業実施について，民間委託等の外部資源の活用は積極的に行うべきだが，基本的には行政が主体性をもって実施する必要があることから，民営化にはなじまないと考える。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」と「意図」で結果に結びつけることができると考える。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		コンテンツマネジメントシステムを導入することにより、ウェブアクセシビリティに対応したホームページを作成できるとともに、各部署からの配信や日時指定による配信を行うことなどにより、業務効率の向上を図ることができる。また、震災時などの緊急時に市民への迅速な情報配信を行うことが可能となる。					
		☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用							
		☒ I T化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し							
		☐ 上記以外の方法							
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		現在のホームページは職員が手作業により作成したものであり、各ページの精査が必要になる。 また、開発経費および運用経費が必要となる。				
			☐ ない						

コード	3630	事務事業名称	情報化推進事業				所属名	情報管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			コンテンツマネジメントシステムを導入し、市民へ迅速な情報の配信を行うとともに、業務効率性の向上を図る。また、今後も情報通信技術の進展や国等の動向を注視しながら、平成23年3月に策定した第2次情報化基本計画等に基づいて事業を推進していきたい。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			コンテンツマネジメントシステムを導入するため、開発及び運用経費が増加するが、ウェブアクセシビリティが向上するとともに、迅速な情報配信を行うことができる。また、国等の動向を見極めつつ、第2次情報化基本計画等に基づいて事業を推進していきたい。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
本市の情報化施策全般については、平成18年6月議会等において質問があり、電子自治体の推進と八千代市情報化基本計画への位置づけ等を答弁している。また、災害時・緊急時のアクセス障害や更新の遅れによる情報伝達の遅延について、早期に対応する要望がある。									

所属長コメント	業務効率性を図るとともに、震災時などの緊急時に市民へ迅速な情報配信を行うよう、早期にコンテンツマネジメントシステムの導入に着手すること。また、平成23年3月策定の八千代市第2次情報化基本計画、同推進計画（平成23年度～平成25年度）に基づき、事業の推進を図るとともに、最新のICTの動向を探りながら、職員の情報リテラシーの向上に努めて行きたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			緊急時の迅速な情報配信及びアクセス障害等への対応，業務効率の向上を図るため，課題解決に努め，システムの導入を検討すること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
	☐ 廃止・休止								
	☐ 事業完了								
	☐ 現状のまま継続								